

## 令和2年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

<b>生徒を伸ばす学校(教育力)</b>	<b>1</b>	<b>笑顔ある学校(安心安全)</b>	<b>1</b>	<b>親しみやすい学校(地域交流)</b>	<b>1</b>
1. 「未来につながる確かな学力」		(確かな学力を育成し、高い希望進路を実現する)			
2. 「安心・安全な学び舎」づくり		(他者と尊重しあう人権意識を醸成し、多くの仲間がいる安心・安全の学校をつくる)			
3. 「西高コミュニティー」の充実と発展		(地域と共に育つ西高生、地域交流 NO1 を誇る堺西高)			

## 2 中期的目標

## 1. 未来につながる確かな学力の育成とさらなる高みの進路実現 Challenge for the future

(1) 多様な希望進路実現(理型[理系、看護医療系]、文型、体育・芸術表現創造コース)に向けて、教職員が一体となり組織的に取り組む。

ア. 基礎学力重視の補習、進学講習を充実させるとともに進学意識を高め、3年生対象の勉強合宿(集中講座)の発展充実を図る。

イ. 「学習サポート委員会」で生徒の学力向上と進路実現を推進する。

ウ. コース別の外部講師による講演会を実施し、生徒のモチベーションを多角的に刺激し、進路実現をサポートする。

エ. 「アートスタジアム」の質感を高めるために、組織的な取り組みとして発展充実させる。(芸術コース・体育コース、音楽系クラブの生徒が成果発表することにより、表現力・創造力をさらに磨く機会とする)

第1志望校合格者80%以上、学校斡旋による就職内定率100%維持

(2) 弛まぬ授業改善により興味・関心を抱かせる魅力ある授業をめざす。

ア. ALの手法を用いて、「何ができるようになるのか」「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」を重視した授業改善に取り組む。(AL型授業の推進)

イ. 年2回の公開授業を実施し、全員参加の研究授業を充実させ教科を超えて授業見学を行う。(相互授業見学:年4回)

ウ. 「CAN-DOリスト」で学習到達目標を設定し、英語の4技能を総合的に育成する授業作りを推進する。併せて英検準2級以上の受験を奨励し、英語の実践的スキルを向上させる。

エ. ICT機器を活用した授業を推進し、生徒の授業に対する肯定的評価を高める。(ICT活用授業の実践)

オ. 授業アンケートを活用して授業の改善点を確認し、授業力向上を図る。(授業アンケートの全教員平均評価の向上)

授業アンケートの教員平均評価の向上 3.1以上を維持(H29:3.1 H30:3.11 R1:3.13%)

学校教育自己診断アンケート(生徒用)「教え方を工夫した授業」の肯定的評価50%以上をめざす。(H29:51.8 H30:47.5% R1:46.4%)

## 2. 生徒が安心して学べる「安心・安全」な学び舎づくり

(1) 課題を抱える生徒・要配慮生徒を組織的に支援する。

ア. 教育相談委員会と学年団が連携を密にし、教科担任が適切に課題を抱える生徒に対応できるよう情報を共有し、学校全体で最善の支援を行う。

イ. 必要に応じてSCと密接に連携をとり、不登校気味の生徒や、心に課題を抱える生徒の対応にあたる。また研修等を通して教員のアドバイザー機能を高め、不登校の未然防止、ドロップアウトの防止につなげる。

ウ. 教職員一人ひとりが「いじめ・体罰」に関する感性を一層高め、いじめを認識したり、生徒から訴え等があった場合、速やかに組織で対応を行う。

エ. 教育相談室を充実させ、相談者やその他課題を抱える生徒にとって安心できる居場所を提供する。

引き続き、いじめ・体罰のない「安心・安全」な学校をめざす。

(2) 仲間づくりを支援する

ア. 「自他敬愛」の心を育み、仲間意識・協調性の向上を図り、学校行事を通して高校生活に充実感と自己有用感を持たせる。

イ. クラブ加入率を維持し、西高に対する帰属意識や愛校心を高めるとともに学校の活性化を図る。

学校教育自己診断アンケート(生徒用)の「学校行事に積極的に関わっている」肯定的な意見70%以上をめざす(H29:69.5 H30:69.3% R1:70.8%)

3年生引退前のクラブ加入率65%を維持(H29:70% H30:70% R1:65%)

(3) 人権意識の醸成と道徳教育の推進

ア. 人権問題に関する正しい理解を深め、女性、障がい者、同和問題(部落差別)、在日外国人、性的マイノリティに係る人権問題をはじめ、様々な人権問題の解決をめざした教育を人権教育として総合的に推進する。

イ. 人間としての在り方、生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために道徳教育推進教師を中心とした道徳教育を推進する組織体制の構築を行う。

(4) 働き方改革の推進

ア. 校務の効率化を図り、教職員の事務作業に係る時間を軽減することにより、生徒と向き合う時間を確保する。

時間外勤務月80時間以上の職員を半減させ、ストレスによる「健康総合リスク」の値を府立学校の平均値以下にする。(H29:91 H30:95 R1:104)

## 3. 地域と共に育ち活躍する「西高コミュニティー」の充実

(1) 開かれたクラブ活動、学校行事で一層の地域交流を行う。

ア. 近隣の中学生を招いた大会「西高カップ(女子ソフトテニス、サッカー、女子バレー)」を継続し、地元中学校との連携をさらに深める。

イ. 「ともに学び、ともに育つ」教育を推進するために、泉北高等支援学校との授業交流(年2回)を継続し障がいのある生徒との相互理解を深める。

西高カップについては、令和4年までに参加者数よりも質感の向上を優先し、泉北高等支援学校との授業交流については、交流方法のさらなる工夫を行う。

(2) 開かれた学校作りをめざし、地域貢献活動やボランティア活動を推進する。

ア. 「美化運動」や「あいさつ運動」を実施する。

イ. クラブ活動や生徒会による地域行事(南区や町会主催のイベント)への参加やボランティア活動を奨励する。

ウ. 地域の一員として通学時の交通ルール順守は勿論、礼儀、服装、遅刻厳禁など規律遵守の重要性を説き、西高生としてのプライドを自覚させる。

(3) 西高の取り組みを学校HP、学校説明会、中学校訪問、地域交流等を通じて広報し、広く西高の魅力を地域に発信する。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [ 令和2年12月実施分 ]	学校運営協議会からの意見
	【第1回学校運営協議会（令和2年6月 日）】 【第2回学校運営協議会（令和2年10月 日）】 【第3回学校運営協議会（令和3年3月 日）】

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 未来につながる確かな学力の育成とさらなる高みの進路実現	(1) 多様な進路実現に向けて教職員が組織的に取り組む  (2) 弛まぬ授業改善により興味関心を抱かせる魅力ある授業をめざす  (3) 英検・漢検をはじめとする資格取得を奨励する	ア) 「総合的な探究の時間（学びにむかう探究学習）」検討WGで、教科横断的な学習や課題発見・解決能力の育成を行うプログラムの研究開発を行う。 イ) 早期に明確な進路目標を設定させ、自学自習の意欲を高揚させる。 ウ) 多様化する受験方式に即応するために受験サポート体制を改良し、進学講習や勉強合宿の形態をさらにバージョンアップさせる。 エ) 第1志望の進路実現に向け学校をあげて支援を行う。 ア) 生徒の授業に関するニーズを把握し、ICT機器を活用した授業の実施を推進する。 イ) 授業アンケートを活用し、授業形態の工夫・改善に繋げるとともに教員相互の研究授業や公開授業を実施し、多様な観点から評価・検証を行う。 ア) 英語、漢字、情報処理、硬筆書写検定等の各種資格試験を奨励し、段階的に上位の級に挑戦させる。	(1) ア) ・「将来に向けた進路・職業に適切な指導が行われている」の肯定的評価70%をめざす。学校教育自己診断アンケート(保護者用)(R1:68.3%) イ) ウ) ・自学自習時間の増加を図る 学校教育自己診断アンケート(生徒用) 2h以上 構成比 6%以上(R1:4.7%) 1h~2h " 10%以上(R1:11.3%) エ) ・進路先満足度 75% ・学校斡旋による就職内定率 100% (2) ア) ・「工夫された授業」の肯定的評価を50%以上 学校教育自己診断アンケート(生徒用)(R1:46.4%) イ) ・授業アンケートの全教員平均評定 3.11 以上維持(R1:3.13) ・教員相互の授業見学 年4回維持(R1:4回) (3) ア) ・英検2級・準2級合格者 20名以上をめざす(R1:10名) ・漢検準2級以上 25名(R1:13名) ・情報処理検定準2級以上 30名(R1:20名) ・ワープロ検定準2級以上 3名(R1:3名)	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 生徒が安心して学べる安心安全な学び舎づくり</p>	<p>(1) 課題を抱える生徒・要配慮生徒の組織的支援</p> <p>(2) 仲間づくりの支援</p> <p>(3) 人権意識の醸成と道徳教育の推進</p> <p>(4) 働き方改革の推進</p>	<p>ア)教育相談委員会と学年団が連携し、担任が適切に課題を抱える生徒に対応できるよう情報を共有し学校全体で最善の支援を行う。</p> <p>イ)年 10 回の SC 有効活用と教育相談室の充実</p> <p>ア)学校行事、クラブ活動のさらなる活性化を図る。</p> <p>イ)顕著な成果のあったクラブについては、後援会による支援を行う。</p> <p>ア)生徒向け人権講演会等で生徒自身の人権意識を向上させ、共に学び・共に育つ心を磨く。</p> <p>イ)警察官等による交通法規、自転車マナー研修</p> <p>ウ)情報社会における正しい判断や望ましい態度、セキュリティの知識等情報モラルの育成に努める、SNS 等による「いじめや問題行動」を防止する。</p> <p>ア)校務を見直し、縮減、効率化を図る。</p>	<p>(1)ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる」(生徒用)の肯定的評価 40%以上をめざす(R1:32.9%)</li> </ul> <p>イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談便りを 5 回発行する。(R1:3 回)</li> </ul> <p>(2)ア)イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校が楽しい」(生徒用)の肯定的評価 80%以上の維持(R1:81.2%)</li> <li>・部活動入部率 65%以上を維持する</li> </ul> <p>(3)ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な差別を考える取り組みの実施、人権講演会肯定的評価 80%以上</li> </ul> <p>イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情件数の半減 (R1:12 件)</li> </ul> <p>ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS の正しい使用を徹底し問題事案件数「0」の維持</li> </ul> <p>(4)ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「適正・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ意欲的に取り組める環境にある。」(教員用)の肯定的評価 30%以上(R1:17%)</li> <li>・ストレスチェックによる「健康総合リスク」の値を府立学校の平均値以下にする。(R1:104)</li> </ul>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 地域と共に取り組む活躍する「西高/中/小/三」の充実</p>	<p>(1)開かれたクラブ活動、学校行事で一層の地域交流推進</p> <p>(2)地域貢献ボランティア活動の推進</p> <p>(3)異校種連携の一層の充実と発展</p> <p>(4)地域における評判を高める</p> <p>(5)広報活動と情報発信</p>	<p>ア)「西高カップ(女子ソフト、サッカー、女子バレー)」の開催や文化部による地域祭りへの参加や施設の訪問発表を行う。</p> <p>イ)10 回目を迎える「アートスタジアム」において更なる質感の充実を図る。</p> <p>ア)校内や地域での「美化運動」や「あいさつ運動」を展開する。</p> <p>ア)福泉南中学校、福泉中央小学校、桃山台小学校との連携、泉北高等支援学校との交流を行い学校相互の理解を深め、小中高が一体となって生徒の成長を見守る。</p> <p>イ)桃山学院教育大学等との高大連携の継続・発展を図る。</p> <p>ア)生活指導を通じてルール遵守の必要性を教え卒業後も信頼される西高生を育てる。</p> <p>ア)学校説明会、体験入学の充実を図る。</p> <p>イ)学校からの情報を効果的に発信し、各種ブログの積極的な更新を推進する。</p>	<p>(1)ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「西高カップ」の参加中学生累計 1300 人以上を維持する(R1:1300 名)</li> <li>・「学校行事に積極的に関わっている」70%以上をめざす (R1:70.0%)</li> </ul> <p>イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流事業年間 20 回以上</li> </ul> <p>(2)ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動、清掃活動を合計年 50 回以上行う (R1:50 回)</li> </ul> <p>(3)ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣小中学校に出前授業(水泳講習等)や AED 講習を 2 回以上実施</li> <li>・泉北高等支援学校との年 2 回の交流継続</li> </ul> <p>イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桃山学院教育大学との高大連携事業を体育コースにおいて年 30h 以上継続実施をする。(R1:34h)</li> </ul> <p>(4)ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校則・規律遵守を指導し、遅刻累計 2000 件以下をめざす。(R1:1 月末 2153 件)</li> </ul> <p>(5)ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校説明会時に生徒会執行部、クラブ員による準備、運営、進行を行う。</li> </ul> <p>イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種ブログの発信頻度を月に 10 本以上あげる。</li> </ul>	